

令和5年度第2回琴浦町男女共同参画審議会 会議録

開催日時	令和6年3月13日（水）19:00～20:00
開催場所	琴浦町役場本庁舎2階 第2会議室
参加者	<p>(1) 委員 キランガ 典子（会長）、井木 桂太（副会長） 久保田 康之、米田 忠良、山根 真奈、（欠席）澤田 直美</p> <p>(2) 事務局 財賀企画政策課長、住吉</p>
会議の次第	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 協議事項 (1) 第4次琴浦町男女共同参画プランに基づく令和5年度の取り組み実績について (2) 令和6年度に向けた男女共同参画推進に関する審議員意見について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
委員からの意見	<p>(1) 第4次琴浦町男女共同参画プランに基づく令和5年度の取り組み実績について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価は、自己評価であり、ばらつきが生じている。数値であれば分かりやすい。評価欄の9割がA・Bであり評価できる。 ・ 男女共同参画について町報に毎月掲載されていたのはよかったので継続を希望したい。 ・ 町職員の男性の育児休業はどのくらい休まれるのか。>少なくとも連続して1カ月以上取得している。 ・ 企業で育児休業が取りづらいという新聞記事を見た。>企業にむけた啓発を進めていく。 ・ 育児休暇制度など県の事業を活用して社労士のサポートを受け、会社の就業規則を改正した。法的に求められている内容であるが、町内の事業者も知らない。こういった制度があることを周知したらどうか。>町内企業に対して県のサポート事業の周知に取り組んでいく。 ・ 第2子以降無料など子育て支援を若い人にアピールしてもらいたい。琴浦町に住みたい働きたいと思う若者も増えていくと思う。より発信を。 ・ 今年度は、ジェンダーに関する授業を先生自ら行った。教育現場でも自分ごととなっていており、継続してもらいたい。 ・ 保健師が家庭訪問する際に母親がいる時に予約する。母親だけでなく、父親に

も子育て指導を。

- ・ 介護にしてもケアマネからの話を夫婦そろった状況で聞けるようにすれば意識も変わってくるのでは。
- ・ DV を受けていた人を見相に繋げるなど、行政の連携がうまく取れている。
- ・ LGBTQ の人が避難所で差別を受けたと報道があった。可能であれば意見交換される場合は、当事者とのヒアリングをされて、安心して集える避難所計画ができればよい。
- ・ 自主防衛組織の女性構成員の%が分かったほうがよい。

(2) 令和6年度に向けた男女共同参画推進に関する審議員意見について

- ・ 防災における男女の参画、子ども、妊婦など様々な人のケアなど取組が必要。地震があったこともあり、より早めに取組んでいくべきことと感じた。
- ・ 全国に災害が多くなってきた。多くの問題が見えてきた。避難所運営だけでも考え方が変わってきている。事前に組織・体制を整備していくことが重要。また、精神的なケアも考えていく必要がある。
- ・ 色々な組織で女性の割合を増やしていくことはいいことであるが、なかなか女性の手が挙げる人が少ない。
- ・ よりん彩での研修もオンラインで役場にサテライト会場を作って近くで受講できるなど、参加しやすい工夫をしている。ぜひ活用してほしい。
- ・ 男女の賃金にまだ隔たりがある。女性管理職の登用など女性の働き方を考えた場合、仕事と家庭の時間の奪い合いになっているのが現状である。企業においては男性であっても育児休業・部分休業・有給の時間取得・代替え制度などの整備が必要。以前は、休暇制度の労務管理システムの整備が中小企業ハードルが高かったが、今ではアプリを導入（500円/月）することで手作業ではなく時間管理が可能となる。こういったツールの導入・活用を支援されたら、男性・女性が互いに仕事を休みやすく、柔軟な働き方につながると考えるので、町での検討をお願いしたい。
- ・ 子どもの教育のなかから、男女関係なくリーダーとなっていく人材の育成を。少しずつでも変わっていくものと期待している。
- ・ SNSを通じて子どもを狙った不審者の侵入が増えてきている。インターネット触れやすい環境の中で、子どもが安易に裸の写真などをSNSにあげてしまうことがより簡単になってきている。ネットリテラシーの啓発が重要と思っている。
- ・ 新規就農でも夫婦で取組んでいる人が増えている。生産部でも新しい空気、歓迎する雰囲気ができている。町も研修生の宿舎を提供するなど、1人ではなく家族単位での就農支援をすすめている。様々なバックボーンの人が就農しており、新しい風が生まれている。